

未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 5月臨時号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
平成29年5月16日発行 Vol. 29-5
校長 橋本 和男

★伸びゆくチャレンジ3 素敵な歌声を広げよう! 音楽教育の推進



♪未来への賛歌♪ 昨年度の6年生が、茅ヶ崎寒川地区音楽会に出場し、すてきな歌声を披露しました。他の学校の児童から「いい声だなあ!」と驚きの声があがりました。この写真は、音楽会直前の最後の練習風景です。場所は、市民文化会館の前庭です。(平成28年12月2日9:12撮影)



児童が日々学習する教科や活動は、国語、算数、理科、生活科、社会、音楽、図工、体育、道徳、総合的な学習の時間、そして、学校行事などの特別活動があります。

どの教科も活動も、健やかな心と体の成長には欠かせない大切な内容です。成長につながることを考えると、「栄養」といいと思います。小学校生活の六年間でバランスよく学んでほしいです。

その中で、「音楽」という教科を今年一年間、大切にしていきたいと思えます。なぜならば、「音」を楽しむことは、豊かな心を育むことにつながっていくからです。音色は、私たちの心に直接響いてきます。心地よい音、さわやかな曲を聴くと、心が穏やかになり気持ちが安定します。

学校では、放送を使って様々な曲を流しています。一日の始まりの朝には、さわやかな歌声や曲を、給食には落ち着いた曲を、掃除の時間には少しテンポのよい曲が流れます。毎日、放送委員会の6年生が活躍してくれています。このように音楽は生活にリズムを生み出してくれます。

また、音楽は、その活動自体に「人と人をつなぐ」要素が含まれています。別の言い方で表現すると、「歌ったり演奏したりすることは、心と心をつなぐ活動である」と言えるでしょう。

♪♪♪♪♪ 音楽教育のチャレンジ ♪♪♪♪♪

- 1 各学年とも日常の「音楽の授業」を大切にして取り組んでいきます。
- 2 本校が、さらに歌が大好きな学校にしていくために、今年度、新たに「愛唱歌」をつくります。児童に親しみのある曲で、自然に口ずさむような歌を目指します。
- 3 学校生活が明るく楽しい時間となるように、始業前をはじめ様々な場面で流れる曲を刷新し、生活にリズムを生み出していきます。
- 4 本物の楽器の音色にふれる時間を設定し、全校児童が参加する「夢コンサート」を実施します。
- 5 茅ヶ崎寒川地区小学校「音楽会」を鶴嶺小学校体育館で開催します。本校からは、6年生が出演します。(参加校：鶴嶺小・梅田小・今宿小・浜之郷小)

本校は、児童数の多い学校です。児童の歌声が響きあい、仲間と仲間がつながって「つくろう歌のわ・広げよう心のわ」をテーマとして、心豊かな生活をつくっていきましょう。

さらに、音楽教育の推進の場として、「芸術鑑賞」の機会をつくりたいと願っていたところ、幸いにも、神奈川県音楽芸術体験事業の「神奈川フィルハーモニー管弦楽団の夢コンサート」を本校で開催することが決定いたしました。70名を超えるフルオーケストラの皆さんが体育館に来られ、演奏してくれます。児童の皆さんも合唱や演奏に参加します。(詳しくは裏面参照)

本物の楽器と音色にふれる貴重な時間となりそうです。開校110年をお祝いしたいと思います。



茅ヶ崎市立鶴嶺小学校 開校110周年記念 プレ・イベント

神奈川フィルハーモニー「夢コンサート」



日時：平成30年1月31日（水）午後 場所：茅ヶ崎市立鶴嶺小学校 体育館



神奈川フィルハーモニー「夢コンサート」平成23年12月に神奈川県内の小学校で開催されたコンサートの写真です。本物の楽器の音に子供たちはビックリ！？すてきな演奏を聴いたり、オーケストラの演奏に合わせて歌ったり演奏したりしました。夢のような時間でした。

■子どもたちの音楽芸術体験事業の趣旨

地域のこどもたちに身近な場で優れた音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、プロ・オーケストラによる実演指導、ワークショップとオーケストラとの共演を通し、自らの手で楽器や音楽に触れ、本物の芸術に触れる機会を提供します。これらを通し、子どもたちの芸術を愛する心を育てるとともに、音楽への興味と理解を深め、豊かな情操を養うことを目的とします。



「夢コンサート」のプログラム（予定）

- ① 歌劇「カルメン」より前奏曲
- ② 「アルルの女」第2組曲から「ファランドール」
- ③ オーケストラの楽器の紹介（一つの楽器ごと）
- ④ 一緒に演奏しよう
- ⑤ 「愛唱歌」を一緒に歌おう！
- ⑥ オペラ「アイダ」より「凱進行曲」
- ⑦ アンコール（オーケストラによる特別編曲）

■事業の内容について

(1)参加型の演奏会

優れた音楽を鑑賞するだけでなく、全児童がオーケストラと共演（演奏・合唱）することで、子どもたちに体験活動の機会を提供する参加型の公演とします。

(2)児童に対するワークショップ

公演に先立ち(1か月程前)、オーケストラから指導者を派遣し、共演する全児童に対して演奏指導及び合唱指導を行います。

■「愛唱歌」制作について

作詞は、児童会の活動により広く全校児童に募集し、未来に向かう児童像を言葉にしていきたいと思います。作曲は、本校職員でチャレンジしていきます。新しく生まれた「愛唱歌」が、児童に親しまれ、自然に口ずさむような曲づくりに挑戦していきたいと思います。

愛唱歌をつくることを発表

6/29の朝会(委員会紹介)にて全校児童に知らせる。タイトルを募集。併せてコンサートの開催も発表する。

愛唱歌のタイトル決定

7/20の朝会(夏休み前)にてタイトルを発表し、夏休みに「歌詞」を考えてくることを伝える。

作詞・作曲の制作を進める

10/12の後期始業式にて「愛唱歌」を発表し、全校児童で一緒に歌う。この日に間に合うよう制作する。

ワークショップで練習する

12月に行われるワークショップで、愛唱歌を歌い、1/31の本公演で全校児童が合唱できるようにする。